

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE)
事後評価結果通知

課題番号	STSC30016
研究開発課題名:	接触面における三次元皮膚負担を推定可能なセンサシートの事業化検証のための大規模センサアレイ開発
研究代表者(所属・役職・氏名)	大阪大学大学院工学研究科 テニユアトラック助教 石原 尚

1. ビジネスモデル仮説検証の目的

申請者らが所有する柔軟素材を柔らかいまま触覚センサにする技術を活用し、人と人工物の接触面での力を測定し、人のためになるサービス提供を行うビジネスの可能性を確かめるとともに、実際に起業する際の形態の詳細を詰めるため。

2. ビジネスモデル仮説検証の概要

本プロジェクトの当初の目標は寝たきりの高齢者の皮膚の負担を計測して事業につなげるといったものであったが、事業化が難しいという判断に至ったため、柔らかい触覚センサという技術シーズの他の適用先を探すことになった。その結果、ペインもあり、顧客数も多く、また事業の拡張性もある育児を適用先にし、「あやす」というタスクを肩代わりする AI デバイスを提供するという事業に設定することに決まった。このようなデバイスに対する顧客の声を集めるため、プロダクトフレイヤーを作成し、意見を募り、想定していたペインに加えて、想定していなかった活用法を発見することができた。

3. 総合所見

多くの分野を対象としながら、模索しながらビジネスモデル仮説検証を進め、子守支援分野のビジネスモデルを作成したことを評価する。引き続き、事業化や技術移転を目指して活動することを期待する。

以上